



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 矢島 昌明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 廣岡 勝也 TEL 075-682-1010
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	130,344	△2.4	3,118	110.1	22,673	104.0	22,116	68.2	13,666	52.0
2025年3月期第3四半期	133,534	△5.6	1,484	△70.1	11,116	—	13,148	—	8,991	—

	親会社の所有者に帰属する四半期利益	四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	13,791	51.1	30,796	250.4	273.59	272.86
2025年3月期第3四半期	9,127	—	8,788	△3.2	167.63	166.98

(注) 1. 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

2. 2026年3月期第3四半期連結累計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円		百万円		百万円	%
2026年3月期第3四半期	289,026		208,248		205,309	71.0
2025年3月期	272,745		195,120		192,047	70.4

(注) 2026年3月期第3四半期連結累計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 100.00	
2026年3月期	—	50.00	—	—	—	
2026年3月期(予想)					50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	173,800	△0.1	△1,500	—	20,200	514.4	19,400	241.5	12,200	69.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期 3 Q	52,500,000株	2025年3月期	55,500,000株
2026年3月期 3 Q	3,129,878株	2025年3月期	3,840,910株
2026年3月期 3 Q	50,407,591株	2025年3月期 3 Q	54,446,326株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(セグメント情報)	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 当第3四半期の業績

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期 連結累計期間	2026年3月期 第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	133,534	130,344	△3,190	△2.4%
売上原価	58,041	55,219	△2,822	△4.9%
売上総利益	75,493	75,125	△368	△0.5%
販売費及び一般管理費	74,009	72,007	△2,002	△2.7%
事業利益	1,484	3,118	+1,634	+110.1%
その他の収益	10,806	21,452	+10,646	+98.5%
その他の費用	1,174	1,897	+723	+61.6%
営業利益	11,116	22,673	+11,557	+104.0%
金融収益	1,775	1,796	+21	+1.2%
金融費用	404	566	+162	+40.1%
持分法による投資損益（△損失）	661	△1,787	△2,448	—
税引前四半期利益	13,148	22,116	+8,968	+68.2%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	9,127	13,791	+4,664	+51.1%

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）の景況は、国内は、雇用や所得環境の改善、各種政策の効果により緩やかな回復を支えることが期待されるものの、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが残りました。また、海外においては、米国は株高が景況感を下支えする一方、物価高や所得層間の格差拡大を背景に二極化した「K字型」の消費動向が進み、低所得者層はさらに節約志向が強まり年末商戦も総じて厳しい環境で推移しました。欧州は、停滞が続いている輸出産業に一部回復が見られ、景気は緩やかな回復局面を迎えた。中国では、不動産市場や設備投資の停滞が継続し、個人消費の回復も遅れる状況が続いています。このように、当社グループを取り巻く世界経済は地域ごとにばらつきの大きい商況となりました。

このような環境において、当社グループは、引き続き「収益力の改善に向けたビジネスモデル改革」、「VISION2030」達成に向けた成長戦略」、「ROICマネジメントの導入」、「アセットライト化の推進」に取り組みました。国内では、中核ブランドの「WACOAL（ワコール）」で一部施策の発現がみられたほか、拡大するリカバリー・ウェア市場へ再参入すべく、2025年12月にリカバリーウェア「&RECOVERY（アンドリカバリー）」の販売を開始しました。コンディショニングウェアブランド「CW-X（シーダブリュー・エックス）」のトップス、タイツから展開を開始し、今後は順次「WACOAL」のインナーウェアやナイトウェアについてもラインアップを拡大します。また顧客戦略の一環として2025年7月に自社EC上で提供を開始した「わたしに合うブラ診断」の累計利用者数は、2025年12月末時点で約40万人となりました。本サービスでは、3D計測サービス「SCANBE（スキャンビー）」によるボディデータを活用し、個々の体型に適した商品をオンライン上で提案するほか、未計測のお客さま向けにはセルフ診断も導入し、店頭に限らず、より多くのお客さまに対してパーソナライズされた購買体験の提供を実現しています。海外では、中国で不採算店舗の撤退等の施策により収益性の改善を図ったほか、2025年6月に発生した物流倉庫火災の影響を受けた英国のBravissimo Group Limited（以下、Bravissimo Group）は、物流体制の早期復旧に努め、9月以降、自社ECにおける出荷を順次再開しました。さらに国内においては、新京都ビルの売却や自己株式の取得等、継続的に資産効率の向上に取り組みました。

売上収益については、主要国におけるレディスインナーウェア等の販売の伸び悩みに加え、前期から当期にかけて事業ポートフォリオを見直し、一部の不採算事業を売却した結果、当期への減収影響が生じました。利益面については、不採算事業の対処やBravissimo Groupの買収に伴う小売売上比率の上昇により売上総利益率が改善したほか、各社においてコストコントロールを実施しました。なお、営業利益については、前述の新京都ビル等の固定資産売却益（185億76百万円）が寄与しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上収益は1,303億44百万円（前年同期比2.4%減）、事業利益は31億18百万円（前年同期比110.1%増）、営業利益は226億73百万円（前年同期比104.0%増）、税引前四半期利益は221億16百万円（前年同期比68.2%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は137億91百万円（前年同期比51.1%増）となりました。

なお、当該期間の為替換算レートは、1米ドル=148.74円（前年同期152.57円）、1英ポンド=198.95円（同195.43円）、1中国元=20.78円（同21.15円）です。

② 報告セグメントの営業概況

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	第3四半期 実績	構成比	第3四半期 実績	構成比	増減額	増減率
売上収益合計	133,534	100.0%	130,344	100.0%	△3,190	△2.4%
ワコール事業（国内）	68,764	51.5%	68,472	52.5%	△292	△0.4%
ワコール事業（海外）	50,001	37.4%	50,004	38.4%	+3	+0.0%
ピーチ・ジョン事業	7,846	5.9%	8,399	6.4%	+553	+7.0%
その他	6,923	5.2%	3,469	2.7%	△3,454	△49.9%

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	第3四半期 実績	売上比	第3四半期 実績	売上比	増減額	増減率
営業利益	11,116	8.3%	22,673	17.4%	+11,557	+104.0%
ワコール事業（国内）	9,231	13.4%	21,659	31.6%	+12,428	+134.6%
ワコール事業（海外）	1,576	3.2%	327	0.7%	△1,249	△79.3%
ピーチ・ジョン事業	23	0.3%	141	1.7%	+118	+513.0%
その他	286	4.1%	546	15.7%	+260	+90.9%

a. ワコール事業（国内）

当第3四半期連結累計期間は、中核事業会社である株ワコールは、実店舗の閉店や来店客数の減少などの影響を受けたものの、EC事業の伸長により前年同期並みを確保しました。一方、販売会社である㈱ウンナナクールや㈱ランジェノエルの低調が響き、セグメント全体では売上は前年同期を下回りました。

ブランド別では、プロモーション強化及び展開店舗の拡大に努める「CW-X」やノンワイヤーブラを中心に展開する「GOCOCi（ゴコチ）」、シンクロブラトップが引き続き好調の「Wing（ウイング）」に加え、高価格帯ブランドの「Salute（サルート）」が前年同期を超える水準で推移しました。前期にリブランディングを実施した中核ブランドの「WACOAL」については、重点品番における在庫効率の改善や新製品の好調等が寄与し始め、当第3四半期連結会計期間においては前年同期を上回る等、足元で施策効果の発現がみられました。一方、直営店を中心に行開する「AMPHI（アンフィ）」、㈱ウンナナクール、㈱ランジェノエルに加え、百貨店を中心に行開するナイトウェア類については店舗閉店や売場縮小、来店客数減少の影響を受けて販売が伸び悩みました。このように、ワコール事業（国内）セグメントにおいては、ブランド・商材別に強弱が入り混じる結果となりました。

チャネル別では、実店舗については、得意先の閉店影響は減少傾向にあるものの、来店客数減少の影響が大きく、低調に推移しました。他方、ECについては、自社EC・他社ECともに堅調な成長を継続しており、全体を下支えしています。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は684億72百万円（前年同期比0.4%減）となりました。営業利益は、新京都ビル等の固定資産売却益の計上が寄与したことから、216億59百万円（前年同期比134.6%増）と大幅な増益となりました。

b. ワコール事業（海外）

当第3四半期連結累計期間において、ワコールインターナショナル（米国）は、二極化する消費動向を背景とした得意先による厳しい仕入抑制の影響を受け、売上は前年同期を下回りました。チャネル別では、百貨店においては仕入抑制に加え、大手得意先の閉店影響も重なり、厳しい状況が継続しました。ECについては、主要ECプラットフォームにおいて、百貨店以上に強力な仕入抑制を受け、消費者への販売自体は堅調であったものの、納品は低調に推移しました。他方、自社ECについては、UI・UXの改善を目的とした一部ブランドにおけるプラットフォームの刷新が奏功し、訪問客数や購買単価の改善がみられ、売上は前年同期を上回りました。

ワコールヨーロッパは、2024年9月に買収したBravissimo Groupの売上が寄与し、売上は前年同期を上回りました。一方、2025年6月に発生した物流倉庫における火災（※1）により、自社ECにおける出荷を約2か月間停止しました。9月以降の出荷再開後は、反動により需要が増加し売上は前年同期を超える水準で推移したもの、火災の影響による在庫不足が発生する等、一部で機会損失が生じました。なお、当該物流倉庫には火災保険

を付保しており、火災によって発生した在庫や建物等の現物損失に加え、出荷停止や在庫不足に伴う逸失利益等についても保険金によって補填される見込みです。被害額の算定には一定の時間を要し、当第3四半期連結累計期間では保険金の一部のみを計上しています。

中国ワコールは、消費者の価格感応度の高まりにより、実店舗・ECとも依然として厳しい状況が続き、売上は前年同期を下回りました。このような環境下でも、店舗イメージの刷新を目的とした店舗改装や、中国で人気のタレントを起用したプロモーションを実施する等、ブランド価値の訴求を目的とした各種施策に取り組んでいます。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は500億4百万円（前年同期比0.0%増）となりました。営業利益は3億27百万円（前年同期比79.3%減）となりました。

c. ピーチ・ジョン事業

当第3四半期連結累計期間については、引き続き新規顧客の獲得強化に重点を置いたコミュニケーション施策や商品戦略が奏功し、ECを中心に全てのチャネルで伸長しました。商品面では、定番商品の「ナイスバディーブラ」「盛れるノンワイヤーブラ」に加え、秋冬シーズンにタレントを起用した「リボンモチーフブラ」やナイトウェア等も堅調に拡大したほか、2025年11月の大型セールにおける販売も高い水準で推移しました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は83億99百万円（前年同期比7.0%増）となりました。営業利益は、1億41百万円（前年同期比513.0%増）となりました。

d. その他

当該セグメントの売上収益は、七彩、ルシアンの連結除外が影響し、34億69百万円（前年同期比49.9%減）となりました。一方、連結子会社における一部事業の譲渡益が寄与（※2）し、営業利益は、5億46百万円（前年同期比90.9%増）と大幅な増益となりました。

※1 2025年6月27日付「英国子会社の物流倉庫における小規模火災発生に関するお知らせ」

<https://www.wacoalholdings.jp/news/pdf.html?dn=20250627503162>

※2 2024年12月26日付「連結子会社における一部事業の譲渡に関するお知らせ」

<https://www.wacoalholdings.jp/news/pdf.html?dn=20241226544921>

(参考) 主要子会社の売上収益・営業利益（△損失）

(単位：百万円)

売上収益	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	第3四半期 実績	構成比	第3四半期 実績	構成比	増減額	増減率
ワコール	64,550	48.3%	64,885	49.8%	+335	+0.5%
ワコールインターナショナル（米国）	19,561	14.6%	17,158	13.2%	△2,403	△12.3%
ワコールヨーロッパ	17,452	13.1%	22,147	17.0%	+4,695	+26.9%
中国ワコール	6,799	5.1%	5,410	4.2%	△1,389	△20.4%
ピーチ・ジョン	7,846	5.9%	8,399	6.4%	+553	+7.0%

※外部売上収益のみを記載しています。

(単位：百万円)

営業利益（△損失）	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	第3四半期 実績	売上比	第3四半期 実績	売上比	増減額	増減率
ワコール	10,327	16.0%	19,715	30.4%	+9,388	+90.9%
ワコールインターナショナル（米国）	900	4.6%	116	0.7%	△784	△87.1%
ワコールヨーロッパ	302	1.7%	240	1.1%	△62	△20.5%
中国ワコール	△447	—	△652	—	△205	—
ピーチ・ジョン	23	0.3%	141	1.7%	+118	+513.0%

（2）当四半期の財政状態の概況

① 資産、負債、株主資本等の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び現金同等物が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して162億81百万円増加し、2,890億26百万円となりました。

負債は、借入金や営業債務及びその他の債務が減少したものの、未払法人所得税や繰延税金負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して31億53百万円増加し、807億78百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、新京都ビルの売却により利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して132億62百万円増加し、2,053億9百万円となりました。

以上の結果により、当第3四半期連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比して0.6ポイント増加し、71.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して131億83百万円増加し、366億2百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期利益136億66百万円に減価償却費及び償却費や法人所得税費用などをによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、95億26百万円の収入（前年同期に比し46億38百万円の収入増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産等の売却などにより、256億18百万円の収入（前年同期に比し199億54百万円の収入増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得などにより、242億87百万円の支出（前年同期に比し89億63百万円の支出増）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月12日に公表した連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,419	36,602
営業債権及びその他の債権	16,835	17,323
その他の金融資産	2,007	3,657
棚卸資産	50,226	50,833
その他の流動資産	7,406	4,881
流動資産合計	99,893	113,296
非流動資産		
有形固定資産	43,252	35,548
使用権資産	12,398	11,024
のれん	15,199	16,578
無形資産	12,323	11,474
投資不動産	1,634	1,600
持分法で会計処理されている投資	20,064	19,535
その他の金融資産	42,022	53,703
退職給付に係る資産	18,399	18,683
繰延税金資産	6,879	6,820
その他の非流動資産	682	765
非流動資産合計	172,852	175,730
資産合計	272,745	289,026

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	11,915	6,894
リース負債	4,704	4,082
営業債務及びその他の債務	15,778	12,763
その他の金融負債	916	910
未払法人所得税	3,019	5,162
その他の流動負債	13,716	14,937
流動負債合計	50,048	44,748
非流動負債		
借入金	2,554	5,817
リース負債	7,924	7,174
退職給付に係る負債	1,621	1,283
繰延税金負債	14,185	20,577
その他の非流動負債	1,293	1,179
非流動負債合計	27,577	36,030
負債合計	77,625	80,778
資本		
資本金	13,260	13,260
資本剰余金	4,311	280
利益剰余金	153,808	155,150
その他の資本の構成要素	38,636	52,751
自己株式	△17,968	△16,132
親会社の所有者に帰属する持分合計	192,047	205,309
非支配持分	3,073	2,939
資本合計	195,120	208,248
負債及び資本合計	272,745	289,026

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
売上収益	133,534	% 100.0	130,344	% 100.0
売上原価	△58,041	△43.5	△55,219	△42.4
販売費及び一般管理費	△74,009	△55.4	△72,007	△55.2
その他の収益	10,806	8.1	21,452	16.5
その他の費用	△1,174	△0.9	△1,897	△1.5
営業利益	11,116	8.3	22,673	17.4
金融収益	1,775	1.3	1,796	1.4
金融費用	△404	△0.3	△566	△0.4
持分法による投資損益	661	0.5	227	0.2
持分法による投資の減損損失	—	—	△2,014	△1.6
税引前四半期利益	13,148	9.8	22,116	17.0
法人所得税費用	△4,157	△3.1	△8,450	△6.5
四半期利益	8,991	6.7	13,666	10.5
四半期利益の帰属				
親会社の所有者	9,127	6.8	13,791	10.6
非支配持分	△136	△0.1	△125	△0.1
四半期利益	8,991	6.7	13,666	10.5
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益（円）	167.63		273.59	
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	166.98		272.86	

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	8,991	13,666
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△3,412	10,884
確定給付制度の再測定	—	42
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△69	122
純損益に振り替えられることのない項目合計	△3,481	11,048
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,860	5,345
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	418	737
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	3,278	6,082
その他の包括利益合計	△203	17,130
四半期包括利益	8,788	30,796
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,738	30,768
非支配持分	50	28
四半期包括利益	8,788	30,796

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	合計		
2024年4月1日残高	13,260	20,550	148,494	46,784	△17,259	211,829	3,313	215,142
四半期利益			9,127			9,127	△136	8,991
その他の包括利益				△389		△389	186	△203
四半期包括利益合計	—	—	9,127	△389	—	8,738	50	8,788
自己株式の取得					△11,009	△11,009		△11,009
自己株式の消却		△16,011			16,011	—		—
株式報酬取引		△95			155	60		60
配当金			△5,463			△5,463	△107	△5,570
子会社の支配喪失に伴う変動						—	△2	△2
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			1,813	△1,813		—		—
所有者との取引額合計	—	△16,106	△3,650	△1,813	5,157	△16,412	△109	△16,521
2024年12月31日残高	13,260	4,444	153,971	44,582	△12,102	204,155	3,254	207,409

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	合計		
2025年4月1日残高	13,260	4,311	153,808	38,636	△17,968	192,047	3,073	195,120
四半期利益			13,791			13,791	△125	13,666
その他の包括利益				16,977		16,977	153	17,130
四半期包括利益合計	—	—	13,791	16,977	—	30,768	28	30,796
自己株式の取得		△9			△12,469	△12,478		△12,478
自己株式の消却		△3,817	△10,238		14,055	—		—
株式報酬取引		△213			250	37		37
配当金			△5,073			△5,073	△100	△5,173
支配継続子会社に対する持分変動		8				8	△62	△54
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			2,862	△2,862		—		—
所有者との取引額合計	—	△4,031	△12,449	△2,862	1,836	△17,506	△162	△17,668
2025年12月31日残高	13,260	280	155,150	52,751	△16,132	205,309	2,939	208,248

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	8,991	13,666
減価償却費及び償却費	8,913	8,682
減損損失	428	—
金融収益	△1,775	△1,796
金融費用	404	566
持分法による投資損益（△は益）	△661	△227
持分法による投資の減損損失	—	2,014
法人所得税費用	4,157	8,450
固定資産除売却損益（△は益）	△9,182	△18,541
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	3,380	△470
棚卸資産の増減額（△は増加）	634	1,266
その他の資産の増減額（△は増加）	△741	△262
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△3,206	△2,352
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△574	△655
その他の負債の増減額（△は減少）	△1,805	1,097
その他	△607	△216
小計	8,356	11,222
利息の受取額	367	314
配当金の受取額	1,750	1,734
利息の支払額	△401	△512
法人所得税の支払額	△6,135	△5,228
法人所得税の還付額	951	1,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,888	9,526
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	684	6,750
定期預金の預入による支出	△1,003	△8,193
有形固定資産等の取得による支出	△1,656	△2,744
有形固定資産等の売却による収入	11,190	26,183
無形資産の取得による支出	△865	△580
その他の金融資産の取得による支出	△157	△124
その他の金融資産の売却及び償還による収入	3,802	4,344
子会社の取得による支出	△7,270	—
子会社の売却による収入	858	—
子会社の売却による支出	—	△295
その他	81	277
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,664	25,618
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	130	229
長期借入れによる収入	6,870	3,382
長期借入金の返済による支出	△1,526	△6,049
リース負債の返済による支出	△4,219	△4,153
自己株式の取得による支出	△11,009	△12,469
親会社の所有者への配当金の支払額	△5,463	△5,073
非支配持分への配当金の支払額	△107	△100
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,324	△24,287

(単位：百万円)

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	572	1,031
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	—	1,295
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,200	13,183
現金及び現金同等物の期首残高	33,547	23,419
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,347	36,602

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	68,764	50,001	7,846	126,611	6,923	—	133,534
セグメント間の内部売上収益	344	8,976	102	9,422	2,582	△12,004	—
合計	69,108	58,977	7,948	136,033	9,505	△12,004	133,534
セグメント利益（注）2	9,231	1,576	23	10,830	286	—	11,116

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ルシアン事業等を含みます。

2. セグメント利益の合計については、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。なお、営業利益から税引前四半期利益までの調整については、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりです。
3. セグメント間取引は、原価に利益を加算した金額で行われています。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	68,472	50,004	8,399	126,875	3,469	—	130,344
セグメント間の内部売上収益	450	9,263	186	9,899	1,573	△11,472	—
合計	68,922	59,267	8,585	136,774	5,042	△11,472	130,344
セグメント利益（注）2	21,659	327	141	22,127	546	—	22,673

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Ai事業等を含みます。

2. セグメント利益の合計については、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。なお、営業利益から税引前四半期利益までの調整については、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりです。
3. セグメント間取引は、原価に利益を加算した金額で行われています。

(2) 地域別に関する情報

外部顧客に対する売上収益

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
日本		82,696
アジア・オセアニア		15,187
欧米		35,651
合計	133,534	130,344

(注) 1. 売上収益は連結会社の所在地を基礎とし分類したものです。

2. 欧米のうち、米国における前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の売上収益は、それぞれ23,302百万円及び20,701百万円であり、英国における前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の売上収益は、それぞれ7,673百万円及び11,976百万円です。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。